

第三者評価内容評価基準（児童自立支援施設）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた支援

A-1-(1) 子どもの権利擁護

A① A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。

A② A-1-(1)-② 子どもの行動制限等は、その最善の利益になる場合にのみ適切に実施している。

A③ A-1-(1)-③ 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。

A-1-(2) 被措置児童等虐待の防止等

A④ A-1-(2)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。

A-1-(3) 子どもの主体性、自律性を尊重した日常生活

A⑤ A-1-(3)-① 子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。

A-1-(4) 支援の継続性とアフターケア

A⑥ A-1-(4)-① 子どもが安定した生活を送れるよう退所後も継続的な支援を行っている。

A-2 支援の質の確保

A-2-(1) 支援の基本

A⑦ A-2-(1)-① 子どもと職員の信頼関係を構築し、家庭的・福祉的アプローチを行っている。

A⑧ A-2-(1)-② 子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。

A⑨ A-2-(1)-③ 自らの加害行為に向き合うための支援を行っている。

A-2-(2) 食生活

A⑩ A-2-(2)-① 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。

A-2-(3) 日常生活等の支援

A⑪ A-2-(3)-① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用し、衣習慣を習得できるよう支援している。

A⑫ A-2-(3)-② 居室等施設全体が、子どもの居場所となるように、安全性、快適さ、あたたかさなどに配慮したものにしている。

A⑬ A-2-(3)-③ スポーツ活動や文化活動を通して心身の育成を支援している。

A-2-(4) 健康管理

A14 A-2-(4)-① 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。

A15 A-2-(4)-② 身体の健康（清潔、病気等）や安全について自己管理ができるよう支援している。

A-2-(5) 性に関する教育

A16 A-2-(5)-① 性に関する教育の機会を設けている。

A-2-(6) 行動上の問題に対する対応

A17 A-2-(6)-① 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように徹底している。

A18 A-2-(6)-② 子どもの行動上の問題に適切に対応している。

A-2-(7) 心理的ケア

A19 A-2-(7)-① 必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。

A-2-(8) 学校教育、学習支援等

A20 A-2-(8)-① 施設と学校の緊密な連携のもと子どもに学校教育を保障している。

A21 A-2-(8)-② 学習環境を整備し、個々の学力等に応じた学習支援を行っている。

A22 A-2-(8)-③ 作業支援、職場実習や職場体験等の機会を通して自立に向けた支援に取り組んでいる。

A23 A-2-(8)-④ 進路を自己決定できるよう支援している。

A-2-(9) 親子関係の再構築支援等

A24 A-2-(9)-① 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。

A-2-(10) 通所による支援

A25 A-2-(10)-① 地域の子どもに対する通所による支援を行っている。